

旧総合資料館跡地等の活用に係る意見聴取会議(第1回)

旧総合資料館跡地等に係る経過及び課題、 議論の方向性

京都府 文化施設政策監

1 北山エリアと旧総合資料館跡地等について①

<立地環境>

- 世界文化遺産の上賀茂神社及び下鴨神社の間に位置している。
- 周辺には、京都工芸繊維大学、京都ノートルダム女子大学、大谷大学、京都産業大学、府立洛北高校等の文教施設や、国立京都国際会館、京都市北文化会館をはじめ多くの文化施設が所在し、文化・学術的な集積が見られる。
- 賀茂川に面し、深泥池（国の天然記念物）や松ヶ崎の西山（妙）・東山（法）が位置し、比叡山が間近に望めるなど、豊かな自然環境に恵まれている。

<アクセス>

京都市営地下鉄北山駅（直結）

// 北大路駅（徒歩約10分）

北大路バスターミナル（徒歩約10分）

東京から約2時間40分

関西国際空港から約1時間45分



1 北山エリアと旧総合資料館跡地等について②

<北山エリアの基本情報>

面積：約38ヘクタール

エリア内施設：府立植物園、府立大学、府立京都学・歴彩館、府立陶板名画の庭、京都コンサートホール

→北山エリアを「京都が世界に誇る文化と憩いに包まれた交流エリア（府総合計画）」と位置付けた上で、旧総合資料館跡地等のほか、府立植物園・府立大学等の共同体育館の整備内容等を検討中。

<旧総合資料館跡地等>

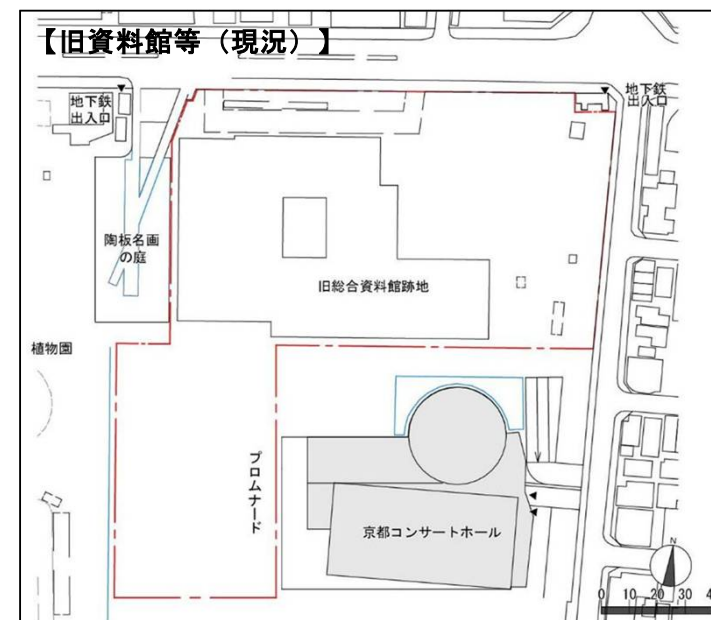
総合資料館は、図書館機能や文書館機能、博物館機能の3つの機能を有する施設として昭和38年から運営。施設の耐震機能上の課題や老朽化により、府立京都学・歴彩館へ機能移転の上、平成28年9月に閉館。（既存建物は残存）

所在地：左京区下鴨半木町1-4（エリア内北東角）

面積：18,772.47㎡（登記簿測量図面積）

○ 主な法令等条件

項目	内容
用途地域	第二種中高層住居専用地域（建ぺい率60%、容積率200%）
高度地区	20m第1種高度地区
防火地域	法22条指定区域
景観保全	沿道型美観形成地区幹線地区・山並み背景型建造物修景地区
眺望景観	眺望空間保全区域・遠景デザイン保全区域
文化財関係	植物園北遺跡（一般遺跡）
その他	日影規制・屋外広告物関係 等



2 旧総合資料館跡地等に関する検討経過

H21.10 北山文化環境ゾーン整備推進についての検討報告

北山地域が文化・環境・学術の交流・発信拠点となるよう将来像の基本的方向性「街区構想」を描くために検討報告書を取りまとめ

▶ 感じる（文化）エリア

現在、北山地域にない新たな文化施設の機能整備を図ることで、既存文化施設との相乗効果が期待できる。

→例えば、舞台芸術系（演劇・舞踏・ダンス等）、視覚芸術系（絵画・写真・工芸・華道・書道等）施設やアートパフォーマンス広場が考えられる。

H30.8 旧総合資料館跡地活用に伴う北山文化環境ゾーンの施設整備についての検討報告

旧総合資料館跡地について地域のポテンシャルを最大限に引き出し、ゾーンの魅力を高めた活用を図るために検討報告書を取りまとめ

▶ 求められる施設の機能

- ・舞台芸術系（演劇・舞踏・ダンス等）・視覚芸術系（絵画・写真・工芸・華道・書道等）が集積した創造・発表の機能
- ・コンベンション、宿泊、飲食施設等の集積や、魅力的なイベントの開催等、賑わい・交流機能
- ・ゾーンのエントランスに相応しい、誰もが自由に使える「広場」機能

R元.10 京都府総合計画 京都市域のエリア構想「北山『文化と憩い』の交流構想」

京都が世界に誇る文化と憩いに包まれた交流エリアの形成

▶ 舞台芸術・視覚芸術が集積した創造・発表の機能

シアターコンプレックス構想：劇場を中心に、創作ホール、展示空間、練習場等を集積したシアターコンプレックスを整備

▶ コンベンション、宿泊、飲食施設等の集積や、魅力的なイベントの開催等、賑わい・交流機能

R2.12 北山エリア整備基本計画

「北山『文化と憩い』の交流構想」を実現するにあたり、北山エリアの整備の方向性を示すために「北山エリア整備基本計画」を取りまとめ

- ▶ 北山通から府立大学に繋がる南北軸、賀茂川から下鴨中通に繋がる東西軸など、エリア全体の回遊性を高める動線の整備
- ▶ 劇場を中心に様々な規模の創作スペースや練習場、展示空間等が集積した舞台芸術・視覚芸術の創作・発表・鑑賞の拠点施設（シアターコンプレックス）整備
- ▶ 北山エリアのエントランスに相応しい「広場」機能整備
- ▶ コンベンション、宿泊、飲食施設等、賑わい・交流機能整備

R4.8～ 旧総合資料館跡地等の活用に係る意見聴取会議

3 課題及び主な論点について

<課題>

- 地下鉄北山駅に接する北山エリアの重要な場所であるが、現状は、閉館から6年近く経つ既存建物が残存
- 府立文化芸術会館は、築50年を超えて老朽化が著しく進行しており耐震機能上の課題があることから、速やかな機能移転が必要
- 北山エリア内の各施設は区切られた閉鎖的な空間となっておりハード・ソフト両面での連携が不足（エリア内の回遊性が低い）

旧総合資料館跡地等の有効活用についてご意見をいただきたい。

<主な論点>

- (1) 旧総合資料館跡地等の全体コンセプト及び求められる機能に関すること。
 - ▶ 新たな舞台芸術・視覚芸術拠点施設に求められる機能について
 - ▶ エリア内の魅力を高めるために求められる付帯施設の機能について
- (2) 旧総合資料館跡地等における施設等の整備・運営手法等に関すること。
 - ▶ 整備に求める基本的な考え方（機能性、配置、動線等）について
 - ▶ 運営に求める基本的な考え方（活用の方向性、利用者サービス、地域連携等）について
 - ▶ 最適な事業手法の考え方について
- (3) 北山エリア内の他施設や周辺地域との連携・調和に関すること。

京都府立文化芸術会館について①

京都における文化芸術活動の拠点として、演劇・古典芸能・舞踊・音楽などの上演及び美術・工芸作品等の展示の両者を総合した文化施設として建設。

開館：昭和45年1月（築52年）

敷地：4,467.52㎡

建物：鉄筋コンクリート地上3階地下1階建（延べ面積：4,388.02㎡）

①ホール 客席419席 舞台・間口13.5m 奥行11.0m

②展示室 1階／1室155㎡ 2階／1室155㎡

③会議室 4室（洋室2、和室2） ※うち、洋室1は録音スタジオ、和室は展示室として使用可能
運営方式：指定管理（創（公益財団法人京都文化財団・株式会社コングレ共同事業体））



→ 耐震機能上の課題や老朽化に伴う施設・設備の抜本的な改修が必要な状況

京都府立文化芸術会館について②

<使用料（抜粋）>

			午前	午後	夜間	全日
ホ ー ル	本番利用	平日	17,700	28,400	39,100	76,700
		土日祝	24,800	36,500	46,300	96,000
	本番を伴う準備・ 練習利用	平日	5,900	9,500	13,100	28,500
		土日祝	8,300	11,900	15,500	35,700
和室 B (定員60名)			7,100	9,500	11,900	25,700
1階展示室(10-18時)			16,000			
2階展示室(10-18時)			11,200			

<利用状況>

年度	合計		ホール			展示室			会議室	
	件数	人数	件数	人数	利用率	件数	人数	利用率	件数	人数
R 3	746	89,708	169	41,840	73.1%	59	27,712	57.6%	518	20,156
R 2	533	47,768	72	14,722	52.2%	47	17,876	47.4%	414	15,170
R 1	1,107	150,151	140	58,666	64.3%	120	57,938	91.9%	847	33,547
H 30	1,218	178,957	165	76,505	76.9%	127	66,521	93.5%	926	35,931

京都こども文化会館について

青少年の健全な育成を図るため、すぐれた文化芸術に接することのできる機会を多くするとともに、青少年自らが文化芸術を創造し発表できる場を提供することを目的に京都府と京都市が協力して設置。

開館：昭和57年7月（令和2年11月閉館）

敷地：4,135.86㎡

建物：鉄骨鉄筋コンクリート地上3階一部地下1階建（延べ面積：4,366.20㎡）

- ①大ホール 客席608席 舞台・間口15m 奥行13m
- ②小ホール 収容人員80～100名（小規模の発表会や練習活動等として利用）
- ③創造活動室 収容人員30名（2室）（練習活動等として利用）
- ④資料室



京都市内類似施設の一覧【ホール関係】

【参考】

施設名称	概要	利用料（土日祝を例示）
京都コンサートホール	<p>①大ホール クラシック音楽に最適のホール 座席1,833席、車椅子席6席</p> <p>②小ホール(アンソング・ルムラ) 室内楽、リサイタル等の小編成のクラシック音楽の演奏会や合唱、ピアノ発表会を主な対象とするホール 座席510席、車椅子席4席</p>	<p>①大ホール 全日409,510円</p> <p>②小ホール 全日99,010円</p> <p>※別途、附属設備利用料金あり ※午前準備・午後本番を想定 (その他諸条件により変動)</p>
京都府立府民ホール (アルティ)	ホール全体が94面に分割された電動昇降床で構成されており多様なステージと客席構成、多彩な空間演出が可能。客席560名	<p>午前38,700円、午後58,100円 夜間76,500円、全日156,000円</p>
北文化会館	<p>①ホール 客席405名、親子室20名</p> <p>②創造活動室 小規模の音楽会、演劇、講習会等に利用可能 面積約142㎡ 定員120名</p>	<p>①ホール 午前48,190円、午後62,850円、 夜間72,280円</p> <p>②創造活動室 午前11,940円、午後15,290円、 夜間17,770円</p> <p>※入場料を徴収する場合</p>
京都会館 (ロームシアター京都)	<p>①メインホール 国内外の大規模公演が可能な客席約2,000席のホール</p> <p>②サウスホール 舞台と客席の距離が近く一体感が得られる客席716席のホール</p> <p>③ノースホール 小劇場やリハーサル室としての利用に適した200人規模のホール</p>	<p>サウスホール 午前110,000円 午後198,000円 夜間250,300円 全日487,100円</p> <p>※入場料を徴収する場合</p>
京都劇場	演劇・ミュージカル・コンサート・舞踊・発表会・講演会・式典などで利用可能。客席941席	<p>全日742,500円</p> <p>※別途、付帯設備・機材等利用料金あり</p>
ヒューリックホール京都	劇場型イベントホールとして映画イベントやセミナーの他、演劇公演などにも柔軟に対応可能。客席約200席（段床使用時）	<p>全日200,000円</p>

京都市内類似施設の一覧【展示関係】

【参考】

施設名称	概要	利用料
京都文化博物館	①洋室 絵画、工芸、写真、デザイン等のギャラリーとして最適。 展示室150㎡×4室、小展示室32㎡×1室 ②和室 書、華など和の展覧会や伝統芸能の発表会にも利用可能。 和室70畳×3室、和室45畳×1室	①洋室（150㎡） 全日52,800円 ②和室（70畳） 全日52,800円 ※いずれも指定期間のうち作家および技能・芸能継承者が指導するグループの催しに係る料金
国立京都国際会館	①New Hall（別館） 2,000㎡ ②Event Hall（別館） 3,000㎡ ③Annex Hall（別館） 1,500㎡	①New Hall 全日1,320,000円 ②Event Hall 全日1,023,000円 ③Annex Hall 全日1,188,000円
京都市美術館 (京都市京セラ美術館)	①本館6区画 各区画385㎡～586㎡ ②別館第1・2展示室 第1展示室417㎡、第2展示室500㎡	①本館6区画 入場料あり:151,440円/週～ 入場料なし:137,640円/週～ ②別館第1・2展示室 入場料あり:124,440円/週～ 入場料なし:113,100円/週～
京都市勧業館みやこめっせ	①第1・2・3展示場 第1展示場1,480㎡、第2展示場3,800㎡、第3展示場4,000㎡ ②特別展示場 370㎡ ③美術工芸ギャラリー A室54㎡、B室59㎡	①第1・2・3展示場 全日244,200円～ ②特別展示場(※) 全日46,200円～ ③美術工芸ギャラリー 全日12,100円～ ※伝統産業の振興・発展を図るための事業に係る料金